

# 丹沢ボラネット瓦版

2023年2月号 No.113

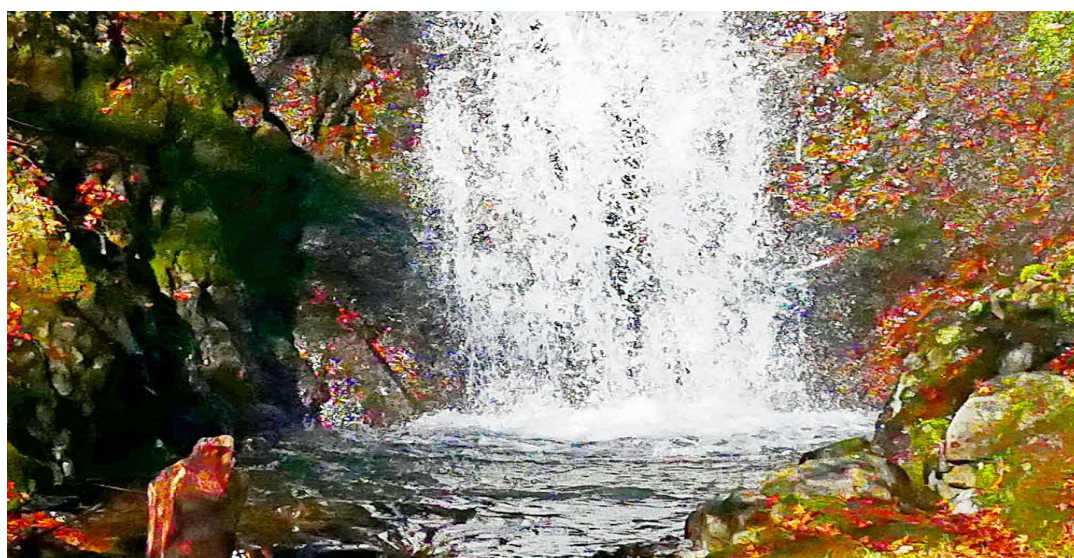


自然環境保全センター自然観察園 Y1 杭の辺り（令和5年1月27日撮影）

## 令和4年度水質調査の報告

報告者 丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会

「丹沢大山水質調査」がコロナ禍のため中止されてきましたが令和4年度は丹沢大山ボランティアネットワーク参加団体様のご協力により実施されました。世話人会代表小林様が調査結果をまとめてくださいましたのでご報告させていただきます。



上写真 秦野湧水の源流(髭僧の滝) 蓑毛より柏木林道、春岳沢40分

今回は18カ所の水質調査を行いました。

☆ 大腸菌は3カ所より検出されました。

☆ 一般細菌の基準以上は1カ所より検出されました。

その他に基準値以下だが、5カ所より検出されました。

質問 丹沢で沢水、湧水を飲んで良いですか？

・検出場所……………飲んではいけません。

・未検出場所……その場で飲む事は、お勧めできません。

・検出 未検出場所に関係なく、

必ず「煮沸」などをしてから飲んでください。

「丹沢 大山水質調査」は2004年度頃から実施され始めました。当初は丹沢大山総合調査の一環として行われていました。**途中から丹沢大山ボランティアネットワークが引き継ぎました。**

現在は丹沢大山ボランティアネットワークが主催で「丹沢の緑を育む集い実行委員会」との共催として事業を継続しています。新型コロナ禍でもあり2年間中止をしていたが今年度（令和4年度）5月に再び事業に取り組みました。

調査場所は丹沢訪問者が比較的利用し易く、頻度が高い22カ所を選んで調査をしました。事情により4カ所が調査できなく18カ所になりました。

#### **水質調査協力団体（6団体）**

- ・ NPO法人丹沢自然保護協会
- ・ 神奈川県勤労者山岳連盟
- ・ NPO法人丹沢自然学校
- ・ NPO法人北丹沢山岳センター
- ・ NPO法人四十八瀬川自然村
- ・ NPO法人伊勢原森林里山研究会

**各団体の皆様お忙しい中の取り組み本当にありがとうございました。**



# 1 水質調査の結果と考察

令和4年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	検査項目											水場周辺の状況				気象の状況			
		一般細菌	大腸菌	亜硫酸塩	亜硝酸塩	硝酸イオン	有機物	pH値	味	臭気	色度	濁度	ゴミ散乱	野外排注	トイレ	水場種類	天候	天候	気温	水温
		CFU/ml	-	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	-	-	-	度	度	なし	なし	なし	湧水	前日	前日	℃	℃
1 平塚越付近	5月11日	0	不検出	0.004未満	0.4	2.1	0.8	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	18	14
2 日向林道駐合水場	5月18日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 榊原屋敷跡	5月11日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.5	0.8	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	19	13
4 堂平沢	5月11日	16	不検出	0.004未満	0.1	0.9	1.1	7.7	正常	正常	2	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	14	12
5 栗小屋平水場	5月9日	0	不検出	0.021	0.3	0.8	1.4	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	曇	曇時々雨	11	10
6 湯殿山遊歩小屋	5月18日	6	不検出	0.004未満	0.5	1.0	0.3	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	雨	13	10
7 大山 弘法の水場	5月15日	0	不検出	0.004未満	0.5	2.1	1.0	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	曇	曇	16	13
8 香取湧水	5月15日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.9	1.0	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	曇	曇	18	14
9 萬葉の泉	5月9日	0	不検出	0.004未満	0.6	2.1	1.1	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり、K2O以下水、揮発物あり	湧水	曇	曇	14	12
10 竜神の泉	5月9日	0	不検出	0.004未満	0.8	2.0	1.0	7.7	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水、揮発物あり	曇	曇	14	12
11 後沢乗越水場	5月28日	12	検出	0.004未満	0.4	1.1	0.4	7.5	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	雨	17	13
12 二俣の水場	5月28日	12	検出	0.004未満	0.4	1.2	0.5	7.5	-	正常	2	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	雨	19	14
13 大倉高尾山の取水場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14 塔ノ岳水場	5月29日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	0.8	0.3未満	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	上方内に恵弘山荘	湧水	晴	-	-	10
15 菅瀬川入道	5月9日	190	不検出	0.004未満	0.5	2.6	1.2	7.7	-	正常	2	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	曇	曇	21	14
16 西丹沢農民の森	5月12日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17 神ノ沢湧水	5月15日	0	不検出	0.004未満	0.4	1.1	0.9	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	落ち葉等	なし	なし	湧水、法面にパイプ	曇	曇	25	22
18 用木沢出合	5月27日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19 一軒屋遊歩小屋前水場	4月5日	10	検出	0.004未満	0.2	0.9	0.5	7.5	-	正常	1未満	0.5未満	ガラス片等	あり(シカ)	なし	湧水	曇時々曇	曇	19	12
20 大越路ずい道水場	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.2	1.0	0.7	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	雨	晴	13	10
21 式部路 日勝沢	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.3	1.1	0.7	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	16	11
22 エドワ沢出合	5月12日	0	不検出	0.004未満	0.2	1.1	0.7	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	湧水	晴	晴	20	11

※大腸菌等が検出された箇所は、味の検査は不可

No.2、13、16、19-都水、水道装置故障等のため採水できず

調査項目 結果一覧表にあるように10項目にわたり調査をしました。その中で今回、検出されている重要な一般細菌や大腸菌について考えてみましょう。最初に検出基準などについて説明します。

(1) 一般細菌について。(2013年度より調査資料あります)

- ・基準は100 CFU/mlです。CFUは増殖したコロニー(集落)の数
- ・細菌に汚染された水ほど、数値が高くなります。すなわち培養すると、たくさんのコロニーが作られ増殖が盛んに行われます。

(2) 大腸菌について

- ・基準は検出されないことです。
- ・沢水等が野生動物の糞尿や土壌生物などで、汚染されているときに検出されます。



上写真 調査地点14 塔ノ岳山頂西側 不動の清水



↑写真 調査地点3 ヤビツ峠北側 護摩屋敷の水

今回の調査では、大腸菌が3カ所、「11 後沢乗越水場」、「12 二俣の水場」、「19 一軒屋避難小屋水場」から検出されました。一般細菌は、「15 皆瀬川人遠(190CFU/ml)」から検出されています。基準以下だがその他検出された箇所は5カ所ありました。一般細菌が含まれている水を持って帰り、常温にある程度の時間を置いたりすると、細菌が増殖します。もちろん冷蔵庫に入れて置いても、長時間たてば、ゆっくりだが増殖をします。油断が出来ません。

**今回の調査の特徴は新型コロナ禍以前より湧水がきれいになっています。**

令和元年度、平成30年度、平成29年度と比べ調査と比較して見ました。大腸菌検出箇所は減ってきました。

H29年度7カ所→H30年度5カ所→R元年5カ所→今回3カ所

**一般細菌検出箇所(基準値以上)は**

H29年度3カ所→H30年度0カ所→R元年2カ所→今回1カ所

**あまり規則的変化は見られないが基準値以下まで調べると減っています。**

**一般細菌と大腸菌の検出は有意な関係があります。大腸菌が検出された水場から常に一般細菌も検出されることが多いです。**

**以上報告をします。**

## 丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

神奈川県山岳連盟さまから原稿を投稿していただきました。山でのフィールド活動や自然環境保全センターで開催された研修会の様子などを紹介して下さいました。

### 神奈川県山岳連盟・自然保護委員会

フィールド活動と研修会を紹介します

◆〈県民協働型登山道維持管理補修協定〉

登山道・ボランティア活動（H30年12月～）

神奈川県との委託契約を締結。大山・イタツミ尾根、岳の台全線の補修を**毎月実施中**。春夏秋冬、時節の作業をしている。自然の豪雨や、登山者が増えた時など、登山道補修の作業をしている。岳の台、菩提峠からの登山道・階段修復作業は、人員、時間を要して、力を合わせて結集。

SC丹沢秦野（トレランチーム）も参戦。個人会員、山岳会員らと荷揚げや、修繕を行っている。



体験募集中!!



◆ 『環境登山』 【春】・環境登山パート1 【秋】・環境登山パート2

春は、表尾根・二の塔の成長した樹木のネットを外す作業。秋は、環境登山、10年来の作業で初めての試み。もみ、ニシキウツギ、ウリハダ楓の混植をした。募集参加者は、親子参加もあった。春と秋、日本山岳・スポーツクライミング協会 (JMCSA) 自然保護委員会から、研修参加。植樹地は、表尾根・三の塔の植生保護柵内外、斜面に植えた。With コロナ登山ができた。

『植生保護柵』って何？ 水源の森林づくり

[植生保護柵 - 神奈川県ホームページ \(pref.kanagawa.jp\)](http://pref.kanagawa.jp)

[環境登山パート2無事終了しました - 神奈川県山岳連盟 ホームページ \(kanagawa-gakuren.gr.jp\)](http://kanagawa-gakuren.gr.jp)



\* \* YouTube やまなみちゃんのレポート 娘と登山ヤマレコ記録あります！ \* \*



◆『山の自然セミナー』（2月26日）

山の自然セミナーは、県立山岳スポーツセンター及び丹沢山塊で1泊2日で開催。コロナ禍で机上講習のみを行った。講師による自然保護活動についての講義。参加者と登山道整備活動についての分かち合い。 神奈川県の委託事業。



講師：神奈川県環境保全センター 研究企画部 谷脇 徹様

内容：「丹沢のナラ枯れについて そのメカニズムと推移、現状、防除法」

◆『身近な水環境全国一斉調査』

世界環境デー・水環境調査（6月5日）

2012年から地域の山岳会の活動を継承し、神奈川県西部地区20地点の河川にて調査。今年度は、相模川水系の中津川、荻野川、小鮎川、玉川から、5か所に選定。調査を行った。地元厚木の山岳会と、岳連のボランティア募集チームで、この活動の再開ができた。里地や、河川上流を歩き、さわやかな季節のウォーキングを楽しんだ。

◆丹沢大山クリーンピア21活動 今後は、是非、再開したいです!!

◆広沢寺岩場清掃集会・協力



連盟は登山が楽しく安全であるための活動とともに、  
「自然を尊ぶ心、ローインパクト登山」を唱え丹沢をフィールドに  
山の環境保全活動に取り組んでいます。

仲間を募っています。一緒に活動しましょう!!

**NPO 法人 野生動物救護の会さまが最近の活動状況を報告して下さいました。**

## NPO 法人 野生動物救護の会の活動報告

野生動物救護の会事務局

令和4年度に私たち野生動物救護の会のメンバーが参加した神奈川県内のイベントや、自然環境と野生動物保護に関する普及啓発活動について紹介します。

### 🦋 自然発見クラブ「野鳥の羽根標本づくり」講座

8月20日に神奈川県自然環境保全センターからの依頼で羽根標本づくりの講座を開きました。参加者は、子ども3名と大人5名でした。今回はセンターからこの講座のために提供してもらったムクドリ羽根の羽根標本をつくってもらいました。

参加者は簡単な羽根の並べ方の説明を聞いたあと、ビニール袋から羽根を取り出して台紙に並べて、木工用ボンドで貼り付けていきました。大人も子供もなかなか難しい作業でしたが、全員最後まで並べることができました。最後に全員がつくった標本をテーブルに並べて比較しながら鑑賞しました。羽根の色や模様の違いを見比べて、このムクドリは成鳥か幼鳥かなど意見を交わしました。



### 🦋 動物フェスティバル神奈川 2022 in よこすか・みうら

コロナ禍で中止になることが多かったのですが、10月23日、久しぶりの動物フェスティバルのイベント開催となりました。会場は横須賀港に面したヴェルニー公園、すぐ目の前に米軍基地があり潜水艦や軍艦などが停泊、朝の8時にはアメリカと日本の国歌が聞こえ、非日常の風景の中でのイベントでした。

ブースの入り口あたりに海ごみ関係のパネルを展示するとメディアなどで最近ではSDGS やマイクロプラスチックという言葉をよく耳にする為か、興味を示してくれる



方も多くなったようです。家族で立ち寄る方も多くいました。お子さんと一緒にパネルを見ながら話をする姿も。私たちが捨てたゴミが鳥獣たちをどのような姿にしまうのか、写真を見つめるお子さんの真剣な眼差しが印象的でした。



#### 🦋 はだのエコスクール「山辺保育園」「堀川小学校」

山辺保育園（10月14日）と堀川小学校（12月16日）で秦野市から依頼されてエコスクールを開催しました。コロナ禍の影響などもありエコスクールの開催は久しぶりで担当スタッフも緊張気味でした。

山辺保育園の保育園児さんたちとは、野生動物のなかま当てクイズやごみごみマンから動物を助ける劇をやったり、エデュケーションアニマルたちとふれ合いをしたりして、野生動物を身近に感じてもらいました。

堀川小学校の4年生の皆さんには、日本の野生動物と人はどんなふうにかかわりあいをもったら良いか考えてもらいました。神奈川県に生息している野生動物の動画を観たり傷病鳥獣の保護活動の話などを聞いたりして、人と野生動物がうまく共存していくにはどうしたら良いのか考えてもらうことができました。



NPO 法人 野生動物救護の会は「野生動物と人のより良い共存」を目的にさまざまな活動を行っています。一緒に活動してみたいという方は HP 等から連絡ください。お待ちしております！



自然環境保全センター野外施設の様子（令和5年1月27日）

丹沢ボラネット瓦版2023年2月号（通巻113号）2月9日発行  
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五